

《令和8年度施政方針》

「笑顔と誇りを未来へつなぐまち 飯南」の実現に向けて

第3次飯南町総合振興計画に基づく町政執行も2年目を迎えます。これまで公約に掲げてまいりました次の5つの重点政策を拡充し、町民の皆さんがこのまちに住むことを幸せに感じていただけるよう、取組を進めてまいります。

町長 塚原 隆昭



町長所信表明は
こちらをご覧ください
令和8年第2回飯南町議会定例会
町長所信表明・提案理由説明要旨



公約に掲げる5つの重点的政策

- ①子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)
- ②安心・安全なまちづくり
- ③誇れる産業が継続できるまちづくり
- ④定住を進めるまちづくり
- ⑤歴史・文化を感じるまちづくり

最優先課題及び重点施策

小中学校の再編

「飯南町教育環境基本計画」に基づき、具体的な学校規模や配置を検討する「飯南町立小・中学校再編計画」の策定に着手。令和9年3月に方向性を提示する予定です。

志々小学校のあり方については、児童数の減少や校舎の安全性を踏まえ、住民・保護者の皆さんと協議を重ねてきました。その結果、「飯南町総合教育会議」において令和9年3月末で閉校し、頓原小学校へ統合することを決定。「志々地区協議会」において、閉校準備や統合後の地域との関わり方等を協議するとともに、学習環境の変化やスクールバス通学への対応など、円滑な移行に努めます。

地域おこし協力隊を活用した人口減少対策

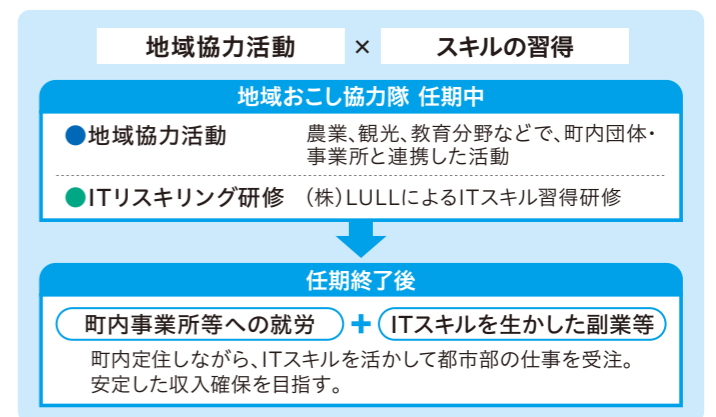
町と地域活性化包括連携協定を締結したIT企業(株)LULLと(一社)離島百貨店が町内に新たな会社を設立。地域協力活動を行いながら、ITスキルを学ぶ地域おこし協力隊を受け入れます。

協力隊任期終了後も、ITスキルを生かした仕事を行いながら、本町に定住することが目的。Iターンだけでなく、Uターン促進のための仕組みとなるよう、関係機関や町内事業所等と連携して事業を推進します。(9ページに関連記事)

高齢者福祉事業の維持

飯南町社会福祉協議会と友愛会は、運営する特別養護老人ホーム2施設を統合し、新たな施設を建設予定。町は、持続可能な介護サービスを確保するため支援を行います。

町が主体となり飯南病院付近の建設予定地の造成工事に着手。秋頃には法人が主体となり、新たな特別養護老人ホーム建設に着手する計画です。昨年度から町職員を法人へ派遣。令和9年秋頃の施設竣工、サービス開始に向け、官民一体となって取組を進めます。



総合振興計画に掲げる主要施策

創造力のある未来の人づくり

●子ども広場の整備
道の駅頓原に隣接する頓原緑地公園へ、こども広場を整備します。「住みよい地域頓原会議」から小中学生の意見などを基にした提言書を受理。提言を参考に「多くの人に自然を感じてもらえる広場」として、遊具や東屋、駐車場等の整備を行う計画です。

●小学校の給食無償化

国は、小学校給食費の負担軽減のため、交付金を市町村に配分する方針を決定。交付金には限度額があり、本町の給食単価はこれを上回っています。

このため小学校の給食は、限度額との差額を町が負担することで、今年度から完全無償化とします。

誇れる産業と仕事づくり

●水田農業の振興

県が開発した「高温に強く大粒で品質に優れる新たな米の品種」を、頓原地区で生産準備圃場として作付けすることが決定。これまでの優良種子生産

の実績により県から依頼されたもので、この新品種が県下に広まり、本町での採種面積が増えることを期待します。

大規模圃場整備は、琴籠・野萱地区、長谷地区での事業実施のほか、上赤名瀬戸地区でも準備調査を実施。既存の農地や農業用水路の改良・補修の要望が多いことから、中小規模の農地整備等にきめ細やかに対応できるよう、要望調査を実施します。

●いーにゃんPAYの利用促進

町内Aコープ3店が加盟し、現金チャージ機を3店舗に配置したことで利便性が向上。事業主体である飯南町商工会とともに、いーにゃんPAYの普及・利用促進に努め、キャッシュレス化への対応と、地域内消費による経済の活性化を図ります。

●iまるシエ指定管理

三次市内へ設置していた飯南町交流物産館「iまるシエ」は、令和7年度をもって指定管理を終了。「iまるシエ」の運営終了により、農産物の出荷先が減少することから、出

荷先確保に向け、生産者支援策を検討します。

●観光宿泊施設のあり方

宿泊機能を1施設に集約する方針案は、住民説明会や議会でのご意見を踏まえ、見直すこととしました。

既存施設を活用し、赤来地域と頓原地域にそれぞれ宿泊・レストラン機能を有する施設を1カ所ずつ残す方針とし、その基礎となる調査・検討を行います。

●出雲大社大しめ縄の製作

8年ぶりの架け替えが決定している、出雲大社神楽殿の大しめ縄の製作が開始。7月に行われる燃り合わせは、大しめ縄づくりの見せ場であり、多くの来客が見込まれることから、観覧席等を設置して来場者を迎える予定です。これを機に、観光客の誘客に向けた情報発信に取り組みます。

誰もが健やかな暮らしづくり

●予防接種

4月1日から、乳幼児の重症化予防として、妊婦を対象としたRSウイルスワクチンが定期接種化されました。65歳を対象とする肺炎球菌

ワクチンは、より効果の高い「20価肺炎球菌ワクチン」へ変更し(従前は13価)、自己負担額等の見直しを行いました。

●認知症条例の制定

認知症になって暮らしている地域で安心して暮らし続けられるまちを目指し、「飯南町認知症を理解し寄り添うまちづくり条例」を制定しました。条例に基づき、認知症への理解促進を目的とした啓発事業を行うなど、本人とその家族に地域全体で寄り添うまちづくりに取り組めます。

●冷蔵庫センサーによる高齢者見守り

本町は、75歳以上の一人暮らし高齢者等が急病や事故等で、緊急に援助を必要とする場合に、ボタン1つで警備会社に連絡できる「緊急通報システム」を導入しています。今年度は、認知機能の低下など、緊急通報システムの使用が困難な人を支援するため「冷蔵庫センサーによる高齢者等見守り事業」を新たに実施します。

協働で進めるまちづくり

●コミュニティのあり方検討

人口減少が進む中、担い手不足や役割分担の負担感の増など、現状の集落単位での地域運営が難しくなっています。

昨年7月には、自治会長・組長の皆さんを対象にコミュニティ実態調査を実施。今年度は、調査結果から地域が抱えている具体的な課題を抽出し、地域でのヒアリング調査等を進めます。

●定住住宅等の整備

安心して暮らせる環境づくり